

令和三年度

# 第七回 富士宮市景観賞

最優秀賞 富士山南陵工業団地・周辺緑地  
「富士山南陵の森」

優秀賞 Mt. Fuji Brewing

優秀賞 富士宮駅前通りおかみさんの会  
「駅前十六市」

優秀賞 富士山御神火まつり神輿部会



富士宮市  
令和4年2月

最優秀賞

富士山南陵工業団地・周辺緑地「富士山南陵の森」

活動団体：一般社団法人富士山南陵の森フォレストセイバー

活動開始時期：平成22年4月7日～



所在地：富士宮市南陵

工業団地の造成で一旦失われてしまった森を、工場の敷地内に緑地帯として設けるのではなく、工場敷地の周辺に植樹することにより復活させています。平成21年に市民を中心に1,900人が参加して植樹した樹木が育ち、自然と共生する工業団地の象徴となっています。

平成22年に完成した工業団地に進出した企業からは、森づくり基金への出資を募り、それを原資に産官学民が連携する形で、森づくり活動が現在も継続的に行われ、生物多様性に富んだ森が形成されつつあります。

12年間にわたり、工業団地進出企業の従業員やその家族、地域住民等が参加し、森の維持管理、育成と良好な景観づくりをする努力をされているところが高く評価されました。



## 優秀賞

### Mt. Fuji Brewing

所在地：富士宮市大宮町4-5

所有者：加和太建設株式会社

設計者：サポーズデザインオフィス

富士山本宮浅間大社の東側にある、ブルワリーレストランです。この場所は「富士宮市世界遺産のまちづくり整備基本構想」の中で「交流拠点創出ゾーン」に位置付けられています。建物はしめ縄の紙垂（しで）をイメージした二段構えの大屋根が印象的ですが、色彩や形状に配慮し、全体的には主張しすぎないデザインになっています。

店内からは、神田川の潤いや、浅間大社を眺めることができ、ゆったりと食事を楽しむことができます。またテラス席等を設置し、賑わいの創出にも貢献しています。賑わいを生み出しながら、景観の維持についても取り組んでいる点が高く評価されました。



## 景観づくり活動部門

## 優秀賞

### 富士宮駅前通りおかみさんの会「駅前十六市」

活動団体：富士宮駅前通りおかみさんの会

活動場所：富士宮駅前通り商店街

活動開始時期：平成12年6月16日～

平成12年から毎月16日に開催されている定期市で、駅から北に300m続く富士宮駅前通り商店街の広い歩道を活用しています。毎月約40店が出店し、駅前通り商店街の30店舗と買い物に訪れる市民により、共同で毎月賑わいを生み出しています。

発足当初から、市民ボランティア団体や小中学校の協力を得て今日に至っており、出店舗は、22年間で少しずつ変わっていますが、富士宮市の特色が出るような店が増えています。

長きにわたる活動の継続で人々の地域への愛着やふるさと意識を育む景観まちづくりとして高く評価されました。



## 優秀賞

### 富士山御神火まつり神輿部会

活動団体：富士山御神火まつり神輿部会

活動場所：浅間大社を中心とした市内

8団体約1,000人からなる神輿部会会員から成り立つ団体で、毎年8月に行われる富士山御神火まつりの神輿運行に関する企画立案等を行い、まつりを通して市の活性化に寄与しています。

神輿部会では、まつりだけではなく、美しい景観を守ることやごみのない街を作ることを目標に、年間を通して、神田川の美化活動や、浅間大社、周辺商店街等のごみ拾い等の清掃活動を行っています。

長年にわたり景観を整える地道な活動をされていることが高く評価されました。



## 特別賞

### 静岡県富士山世界遺産センター

静岡県景観賞奨励賞

所在地：富士宮市宮町5-12

設計者：株式会社 坂茂建築設計

平成29年12月に開館した世界遺産富士山を後世に守り伝えるための拠点施設です。平成30年度第11回静岡県景観賞で奨励賞を受賞しました。

「富士山からの湧水を水盤に引き込み、環境循環と象徴を反映させる」をコンセプトに、神田川の湧水を活用しています。水盤に富士ヒノキの木格子が印象的な展示棟が映り込み、富士山や鳥居と組み合わせさせて、新たな景観を創出しています。

樹木管理や清掃等の景観管理については、周辺住民をはじめとした登録ボランティアスタッフの協力を得て実施しています。



## 奨励賞

# 富士山ゲストハウス 掬水

きく すい

所在地：富士宮市元城町22-3

施主：加和太建設株式会社

設計者：株式会社 勝亦丸山建築計画

所有者：有限会社 掬水

築70年以上の廃業した旅館をゲストハウスとして再生しました。「掬水」という名前は、水が掬（すく）える場所に建っていることから名付けられたように、湧玉池に隣接しており、館内からも間近に湧き水の恵みを感じることができます。

エントランスに向かうまで、木々や火山石、湧き水の水路で彩られた空間を楽しめ、中央に位置する吹抜け空間は、湧玉池から富士山方向に向かう風の抜け道となっており、トップライトが宿泊客や地元の人が集うラウンジに明るさをもたらしています。

建物の正面が湧玉池に向かっており、浅間大社の風景の一部となっています。夜は建物に明かりが灯り、日中とは違う落ち着いた景観を楽しむことができます。

まちなみ・うるおい部門



## 奨励賞

# 株式会社 マクルウ

活動団体：株式会社マクルウ

活動場所：富士宮市山本286-1

マグネシウム合金という新素材の加工に特化したモノづくり系ベンチャー企業です。最軽量金属であるマグネシウム合金の特徴を生かし、杖「フラミンゴ」を製作・販売しています。

製作時に出てしまったスクラップを活用し、季節に合わせたオブジェを作って展示したり、塗装して工場脇を飾ったり、高校生の協力を得て、フラミンゴとパイプ材をイメージしたアート作品の制作等も行っています。

「マグフェス」と題して子どもたちのモノづくり体験のイベントを行うなど、住宅地にある工場が地域のためになり、なおかつ、良好な景観を創出することを目指して活動しています。

景観づくり活動部門



# 第7回 富士宮市景観賞について

## 概要

富士宮市景観賞は、優れた景観の形成に貢献しているまちなみ、建築物、屋外広告物、広場、水辺、森林、農地等及び活動団体を表彰し、その内容を広く公開することで、景観に対する市民意識を高め、本市の美しい景観づくりに寄与することを目的に、1年おきに開催しています。

## 募集対象

市内で優れた景観の形成に貢献しており、道路などの公共の場所から見ることができ、人が何らかの関わりを持って形成されているまちなみ、建築物、屋外広告物、広場、水辺、森林、農地等及び活動団体

## 募集部門

### まちなみ・うるおい部門

- 歴史、文化を残しているまちなみや、地域の個性と魅力が活かされているまちなみ、背景となる山や川等と調和しているまちなみ
- 周囲の環境と調和して景観を引き立たせている建築物、新たな景観資源となるシンボリックな建築物
- 緑化や広場の創出、水辺、森林、里山、屋敷林や農地の活用・保全などで、水と緑、自然を活かした魅力的な景観をつくりだしているもの
- まちかどや集落の小空間を利用してうるおいを創出しているもの
- 周囲の環境と調和し、意匠・色彩・素材などの表現が優れた屋外広告物、工作物など

### 富士山部門

- 富士山を引き立たせる風景を創出して利用・管理されている農地や森林
- 富士山の景観と調和した建築物、屋外広告物など
- 富士山の景観を守り、育てていくための活動

### 景観づくり活動部門

- 良好な景観形成に寄与する活動や市民に親しまれているイベント、まちづくり活動などで、魅力的な景観を創り出しているもの又は景観上好ましくないものを取り除く活動

## 表彰基準

### 最優秀賞・優秀賞

特に優れているもの（対象の所有者等又は団体及び設計者）に対し、富士宮市長から「最優秀賞」「優秀賞」を授与します。（原則として最優秀賞1件、優秀賞2件）

### 奨励賞

「最優秀賞」「優秀賞」受賞地区以外で以下のいずれかに該当するものに対し、富士宮市景観審議会会長から奨励賞を授与します。

- ・5年以上活動を継続している又は今後の活動が期待できる団体等
- ・周辺との調和を図りつつも、固有の特性や持ち味を有する建造物の所有者等及び設計者
- ・市内の新たな景観を独自の視点で発掘した者

### 特別賞

富士宮市景観賞実施年の前年度及び前々年度の静岡県景観賞受賞地区に対し、富士宮市景観審議会会長から「特別賞」を授与します。ただし、最優秀賞及び優秀賞受賞地区を除きます。

※まちなみ等、表彰対象物の関係者が複数となる場合も総じて1件を表彰します。

## 審査

### 応募件数

6件（募集期間：令和3年5月1日～令和3年6月30日）

### 審査

令和3年度第2回富士宮市景観審議会（令和3年11月16日開催）における審査を経て、最優秀賞1件、優秀賞3件、奨励賞2件及び特別賞を決定しました。

## 審査委員

### 審査委員（富士宮市景観審議会委員） 委員名簿

委員長	天野 光一	日本大学理工学部 特任教授	清 哲也	富士宮建設業協同組合 理事長
	菅原由美子	菅原由美子観光計画研究所 主宰	川本 英知	富士宮緑化事業協働組合 理事
	大久保あかね	静岡県立大学経営情報学部 教授	河村 千文	富士宮商店街連盟
	渡井 正二	郷土史研究家	秋鹿 衛	静岡県広告美術業協働組合 富士宮支部 支部長
	寺田 文彦	富士宮市区長会 副会長	篠田 宗純	静岡国道事務所長
	木下 富之	富士宮市域自然調査研究会	藤平 大	富士砂防事務所長
	渡邊 和彦	富士宮美術協会 副会長・事務局長	青木 直己	富士土木事務所長
	西井戸範夫	一般社団法人富士建築士会 評議員	杉山 厚吉	富士農林事務所長

（順不同、敬称略、審査日時点）